

# ミュージックコース 声楽



講師 深川 和美  
ふかがわ かずみ

## 略歴

ソプラノ歌手

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。1993年より10年間、関西二期会に所属。フランス・パリへ留学、94年、フランス音楽コンクール・フランス総領事賞受賞。95年より日本文化を見つめ直し、日本の歌や武満徹の曲、中原中也など詩人の作品などを歌う。99年、神戸市文化奨励賞受賞。04年より「深川和美の童謡サロン」を主宰し、全国ツアーを行い、各地で好評を博す。「心に伝わる歌」を伝えるための演奏活動に尽力し活躍中。CDに「浜辺のソプラノ」「アミチエ」「宮水」等。

## advice points

- 年長の人に、どんなわらべ歌や童謡を知っているか聞いておく。
- テレビやラジオで、童謡や唱歌の番組を視聴する機会をもつ。

## より発展的なワークショップを実施するために

- 色々な童謡やわらべ歌を探して、アレンジを変えて歌う。
- 童謡やわらべ歌に自分たちで遊び用の振りをつけて歌ってみる。
- 自分たちのオリジナル童謡を作詞・作曲する。

# 歌声は心を結ぶメッセージ

## 目的

- 歌詞やことばのリズムを敏感に感じ、日本のわらべ歌や遊び歌も1つの歌であることを知る。

## 効果

- ふだん何気なく歌っている歌が、1つの楽曲となる喜びを感じる。

## 到達点

- 日本語のリズムのおもしろさ、声を合わせる喜びを感じる。



## 事前学習

ワークショップで歌う童謡やわらべ歌をCDで鑑賞する。

## ワークショップの流れ（2日間く2コマ/日）

講師の歌（「とおoryんせ」、「十五夜お月」など）を鑑賞



「俵はごろごろ」の歌で「オノマトペ（擬声語）遊び」演習



「俵はごろごろ」の歌をもとに、クラス独自の歌を作成



発声練習と「かごめかごめ」を合唱演習



打楽器でリズム遊び



発表会を行い、「かごめかごめ」を合唱

## 事後学習

通常の音楽の授業で、習った歌唱法を実践する。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

生徒たちは、幼い頃に遊んだ歌を思い出し、「こんな歌でこうやって遊んだ」と教えてくれた。音楽は難しいもの、遠い存在のものと感じて欲しくないので、その言葉がとてもうれしかった。ふだん何気なく歌っている歌を見直す機会が作れたのではないかなと思う。

### 先生の感想

生徒たちは、プロから習ったという満足感や、歌うことへの興味、もっと上手になりたいという向上心などの変化が見られた。最終日に発表会を行うことで、プロと同じように舞台上に立ち、適度の緊張感と他人に評価されるという意識をもつという効果があった。

### 生徒の感想

- 歌う楽しさ、音をみんなで作る楽しさを知り、「音楽」は「音を楽しむこと」だと感じた。
- 自分が音楽をやっている根底には、子供の頃に聞いていた童謡があったことを改めて意識した。本当に心から楽しめて、予想以上にみんなが一体化できて、すごくよかった。
- 将来音楽の仕事を志望しているので大変勉強になった。小さい頃から歌っていた歌が、こんなにカッコ良いのかとすごく感動した。わらべ歌を思い出せてよかった。